

メキシコ - メキシコペソが急落 -

＜与党PRI関係者が汚職問題で逮捕＞

メキシコのペニャニエト大統領が所属する与党・制度的革命党（PRI）の元財務担当者グティエレス氏が公金の不正横領容疑で逮捕されました。

このニュースを受けて、メキシコペソは昨年のトランプショック以来となる急落をしています。12月25日の海外終値は1米ドル=19.75メキシコペソ、1メキシコペソ=5.7357円と今年3月以来の安値水準となっています。

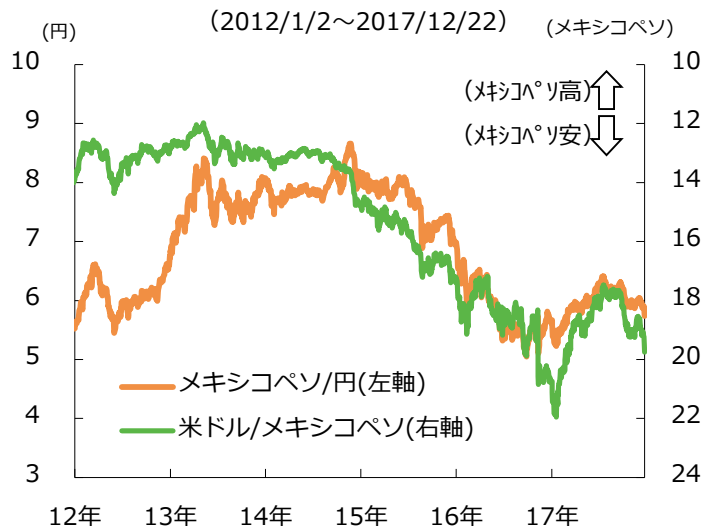
＜今後の見通し＞

メキシコでは来年7月に大統領選挙を控えていますが、与党PRIは苦戦が伝えられており、今回の汚職問題による関係者の逮捕がさらに逆風となることが懸念されます。

また、NAFTA再交渉に対する不透明感が続いていることもメキシコペソの重石となりそうです。

12月14日（現地時間）にはインフレ抑制のためメキシコ中央銀行による利上げが実施されました。相対的に高い金利水準がメキシコペソのサポートになると思われますが、メキシコの政治に対する不透明感が強まっており、しばらくは上値が重い展開が予想されます。

＜メキシコペソ為替の推移＞



出所：Bloomberg

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.24200%（但し、最低2,700円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては約定代金に対して最大0.97200%の国内取次手数料（税込）に加え、現地情勢等に応じて決定される現地手数料および税金等が必要となります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動（裏付け資産の価格や収益力の変動を含みます）による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会